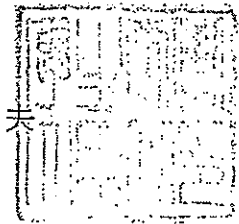


厚生労働省発食安0412第2号

平成23年4月12日

薬事・食品衛生審議会
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 細川 律夫



諮問書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、
下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

イミダクロプリド

平成23年5月13日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成23年4月12日付け厚生労働省発食安0412第2号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくイミダクロプリドに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

イミダクロプリド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の新規の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：イミダクロプリド [Imidacloprid (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

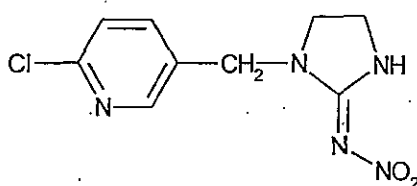
クロロニコチル系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、神経伝達を遮断するなどの作用により殺虫効果を示すと考えられている。

(3) 化学名：

1-(6-chloro-3-pyridylmethyl)-*N*-nitroimidazolidin-2-ylideneamine (IUPAC)

1-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*-nitro-2-imidazolidinimine (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₉ H ₁₀ ClN ₅ O ₂
分子量	255.7
水溶解度	0.48g/L (20.0°C)
分配係数	log ₁₀ Pow=0.57 (21°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本剤の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

【作物名】、【総使用回数】となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、畜産物に係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がされている。

(1) 国内での使用方法

①2.0%イミダクロプリド粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダグプリドを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ ウカ類 イネズツウムシ イネアザミ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～80g	移植2日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布 は2回以内)
	イネトヨイムシ イネヒメコガリハエ	育苗箱1箱 当り50g				

②1.0%イミダクロプリド粒剤

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダグプリドを含む農薬の総使用回数	
稲	—	ツマグロヨコバイ ウカ類	3kg/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (種もみへの処理 又は移植時 までの処理は 1回以内、 本田での散布は 2回以内)	
かんきつ (苗木)		ミコハモグリガ	20g/樹 (6kg/10a)	育苗期	1回	株元散布	—	
れんこん		クワイビレアラムシ イネコイハムシ	3kg/10a	植付時		2回以内	植溝 土壌混和	3回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内、 植付後は 2回以内)
		ばれいしょ さといも	クワイビレアラムシ	4kg/10a	収穫14日 前まで 植付時		散布	
豆類 (種実)		アラムシ類	—	3kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)
				1～2g/株	定植時 又は は種時		植穴 土壌混和	

②1.0%イミダクロプリド粒剤 (続き)

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
豆類 (未成熟、ただし、 さやいんげん、 未成熟そらまめ を除く)	—		2g/植穴	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時及び は種時の土壌 混和は合計1回 以内、 散布は2回以内)
			3kg/10a	は種時		播溝 土壌混和	
未成熟 そらまめ		アブラムシ類	2g/植穴	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時及び は種時の 土壌混和は 合計1回以内)
			3kg/10a	は種時		播溝土壌 混和	
きゅうり			1g/株	育苗期 後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散 布及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布及び 常温煙霧は 合計3回以内)
		アブラムシ類 シキイロアザミ	1~2g/株	定植時		植穴又は 株元 土壌混和	
		コナジラミ類	2g/株			植穴 土壌混和	
すいか		アブラムシ類	5g/株	定植時		植穴又は 株元 土壌混和	4回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は3回以内)
		シキイロアザミ	1~5g/株 1~2g/株			植穴 土壌混和	
メロン		アブラムシ類	1g/株	育苗期 後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散 布及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は3回以内)
		アブラムシ類 シキイロアザミ	1~2g/株	定植時		植穴又は 株元 土壌混和	
		コナジラミ類				植穴 土壌混和	
かぼちゃ		コナジラミ類 アザミ類	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)
にがうり		アブラムシ類	1~2g/株			植穴又は 株元土壌 混和	2回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内)
トマト ミニトマト	コナジラミ類	0.5~1g/ 株	育苗期 後半	株元散布		3回以内 (育苗期の株元散 布及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴土壌 混和			
ピーマン とうがらし類	アブラムシ類	1g/株	育苗期 後半	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散 布及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)		
	アブラムシ類 シキイロアザミ	1~2g/株	定植時	植穴又は 株元土壌 混和			

②1.0%イミダクロプリド粒剤（続き）

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
なす	—	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)	
		アブラムシ類 シキイロアザミヤ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和		
ねぎ わけぎ あさつき		アブラムシ類	4kg/10a	—		植溝土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
はくさい		0.5g/株	植穴土壌混和					
だいこん		アブラムシ類	3~6kg/10a	は種時		—	播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、は種後は2回以内)
非結球 あぶらな科 葉菜類								2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)
なばな類								なばなは2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)、 なばな以外のなばな類は1回
いちご		アブラムシ類 シキイロアザミヤ	0.5g/株	育苗期後半		—	株元散布	1回
パセリ				定植時				
こんにゃく		アブラムシ類	3~6kg/10a	培土時 (基根伸長期)		—	株元土壌混和	3回以内 (培土時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	生育期 但し収穫21日前まで			2回以内	茎葉散布			
さといも (葉柄)	4kg/10a			植付時	1回			

②1.0%イミダクロプリド粒剤 (続き)

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
やまのいも		コガネムシ類	4kg/10a	植付時	1回	植溝 ・ 土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)	
やまのいも (むかご)		コガネムシ類	4kg/10a	植付時		植溝 土壌混和	1回	
まくわうり		アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴 土壌混和		
かんしょ		コガネムシ類	4kg/10a	植付時		作条 土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)	
じゅんさい	じゅんさい田	ユスリカ類	3kg/10a	収穫前日まで		散布	1回	
にら		ネギアザミヤ	4kg/10a	定植時		1回	植溝 土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、 株元散布は1回以内)
				収穫30日前まで			株元散布	
レタス		アブラムシ類	0.5g/株	育苗期後半		3回以内 (育苗期の処理は1回以内、 散布は2回以内)		
キャベツ				定植時		植穴 土壌混和		3回以内 (育苗期の灌水及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
ブロッコリー								
ほうれんそう				4kg/10a	は種時	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)	

③10.0%イミダクロプリド水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
りんご	アブラムシ類 キンモンボウガ ギンモンハモグリガ	1000～ 2000倍	200～700 L/10a	収穫3日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
なし	アブラムシ類 カメムシ類	1000倍						
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍						
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍		収穫14日 前まで				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメコハライ	1000～ 2000倍 1000倍		収穫21日 前まで				
かき	チャノキイロアザミウマ カキダアザミウマ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍		収穫7日 前まで				3回以内
うめ すもも	アブラムシ類	2000倍		収穫21日 前まで	2回以内			
くり	クリガアブラムシ	1000倍		収穫7日 前まで	3回以内			
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000倍		収穫14日 前まで	2回以内			2回以内
稲	ツマグロヨコバイ ウカ類			60～150 L/10a				収穫7日 前まで
稲 (箱育苗)	イトトヨイムシ イネミスヅウムシ ツマグロヨコバイ ウカ類	100倍	育苗箱 (30×60× 3cm)使用 土壌約 5L)1箱当 り0.5L	移植2日前 ～ 移植当日	1回	育苗箱 当り 希釈液 0.5Lを苗 の上から 灌注する	3回以内 (移植時までの処 理は1回以内、本 田での 散布は2回以内)	

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	1000～3000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)
		16倍	3.2 L/10a			無人ヘリコプターによる散布	
きゅうり	オンシツコナジラミ ミナキイロアザミ	2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
すいか	アブラムシ類 ミナキイロアザミ			収穫3日前まで	3回以内		4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
メロン	アブラムシ類 ミナキイロアザミ タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)			収穫前日まで	2回以内		4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
にがうり	ミナキイロアザミ			収穫前日まで	2回以内		2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)
トマト	アブラムシ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) オンシツコナジラミ			収穫前日まで	2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
なす	アブラムシ類 ミナキイロアザミ オンシツコナジラミ			収穫前日まで	2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)
ピーマン	ミナキイロアザミ アブラムシ類			収穫前日まで	2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
てんさい	テンサイヒバムシ アブラムシ類			60倍	ペーパーポット 1冊当り 1L (3L/m ²)		定植時

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
茶	チャノキイロザシマ	1000～2000倍	200～400 L/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回
	チャノミドリヒメコハバイ	1000倍					
	チャノホガ	2000倍					

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (続き)

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	アブラムシ類	100g/10a	5L/10a	収穫前日まで	3回以内	常温煙霧	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
なす								3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)
ぶどう		チャノキイロザシマ	200g/10a	9L/10a	収穫21日前まで	2回以内		2回以内

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (続き)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	ツマグロヨコバイ ウナカ類	種もみ 3kg当り 150～200g	は種前	1回	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣 (地上は種用、空中散播及び無人ヘリコプターによる散播用)	3回以内 (種もみへの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	イネズツウムシ	種もみ3kg 当り200g				
小麦	オシロイバナ	種子重量の 0.15%			種子粉衣	3回以内 (種子粉衣は1回以内、散布は2回以内)

④0.25%イミダクロプリド粉剤

作物名	適用場所	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミダクロプリド を含む農薬 の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ ウナギ類	3~4 kg/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (種もみへの処理 又は移植時までの 処理は 1回以内、 本田での散布は 2回以内)
		カメムシ類	4kg/10a				
		イトナミシ	3kg/10a				
れんこん	—	アブラムシ類	4kg/10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内、 植付後は 2回以内)
水田作物、 畑作物 (休耕田)	イシ、ササ、スサキ、 セトクサアザミ等 の多年生 雑草が優占 している 休耕田	カメムシ類	4kg/10a	—	—	—	2回以内

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミダクロプリド を含む農薬 の総使用回数
とうもろこし	アブラムシ類	64倍	3.2L/10a	収穫14日 前まで	2回以内	無人ロボ ットによる 散布	3回以内 (種子粉衣は 1回以内、は種 後は2回以内)
オクラ	アブラムシ類 アザミヤカ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内		3回以内
しそ	アブラムシ類	5000倍		—	—		2回以内
アマランサス (茎葉)	—	—		—	—	—	—
レタス	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の処理 は1回以内、 散布は2回以内)
キャベツ							3回以内 (育苗期の灌水 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数			
はくさい	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時の土壌 混和は1回 以内、散布は 2回以内)			
みずな				収穫3日 前まで			2回以内 (は種時の土壌 混和は1回以 内)			
食用ぎく				アブラムシ類 アザシヤ類			収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内
ふき				アブラムシ類 コジラネ類						
畑わさび				アブラムシ類						
わさび							畑育苗期	3回以内		
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	2回以内				
なし	アブラムシ類									
もも	アブラムシ類 モハモガリガ カメムシ類	5000倍		収穫3日 前まで						
未成熟 そらまめ	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	3回以内 (定植時及び は種時の土壌 混和は合計 1回以内)				
だいこん	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫14日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内、 は種後は 2回以内)			
ほうれんそう	アブラムシ類 アザシヤ			収穫前日 まで			3回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)			
非結球 あぶらな科 葉菜類 (みずなを 除く)	アブラムシ類 コジラネ類			100~300 L/10a			収穫14日 前まで	2回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内)		

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
非結球レタス ごぼう ふだんそう エンダイブ アセロラ しそ(花穂)	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内
ねぎ	ネギアザミヤ	2000~ 4000倍		収穫14日 前まで			
わけぎ あさつき				収穫3日 前まで			
モロヘイヤ		2000倍		収穫14日 前まで	2回以内		
葉ごぼう	アブラムシ類	4000倍		収穫3日 前まで	1回		2回以内
食用さくら (葉)	アザミヤ類			収穫21日 前まで	3回以内		1回
くわい	アブラムシ類			収穫前日 まで	3回以内		4回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は 合計1回以内、 散布及び常温 煙霧は 合計3回以内)
きゅうり	アブラムシ類 ミキイロアザミヤ			収穫3日 前まで			
メロン	アブラムシ類 ミキイロアザミヤ	4000倍		収穫14日 前まで	1回		1回
せり科葉菜類 (コリアンダー (葉)、 セルリー、 パセリ、 みつば せりを除く)	アブラムシ類			収穫14日 前まで	2回以内		
れんこん							

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数	
はまぼうふう (葉)	777アミ類	4000倍	100~300 L/10 a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
メキャベツ				株養成期 但し、 収穫180 日前まで	3回以内			3回以内
非結球 メキャベツ								
さんしょう (葉)				収穫14日 前まで	1回			2回以内 (定植時の土壌 混和及び株元 散布は合計1回 以内、散布は 1回以内)
パセリ		2000倍		収穫7日 前まで	2回以内		2回以内	
ピタヤ				収穫3日 前まで				
コリアンダー (葉)		4000倍		収穫7日 前まで	3回以内		3回以内	
セルリー				収穫14日 前まで				2回以内
食用プリムラ きく(葉)		2000倍		根株養成期 但し、 収穫60 日前まで	3回以内		3回以内	
うど								
ブロッコリー		4000倍		収穫3日 前まで	2回以内		2回以内	4回以内 (育苗期の灌注 は1回以内、 定植時の土壌 混和は1回 以内、散布は 2回以内)
かぼちゃ				収穫前日 まで				3回以内
ズッキーニ							3回以内	

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (続き)

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数	
ヤングコーン	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10 a	収穫3日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
いちょう (種子)	イトナガビロアサギ成虫			収穫前日 まで				3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類						3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)	
ピーマン	アブラムシ類							
なす	アブラムシ類 チャノキイロアサギシマ						3回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の土壌混和は 合計1回以内、 散布及び 常温煙霧は 合計2回以内)	
キノア	カメノコハムシ			収穫7日 前まで				2回以内
やなぎたで	アブラムシ類	収穫3日 前まで						
かんきつ	ケンキスイ類	4000～	200～700 L/10 a	収穫14日 前まで	3回以内	無人ヘリコプ ターによる 散布	3回以内	
	コアオナムグアリ	5000倍						
	コナカバアブラムシ類	2500倍						
	アカマルカバアブラムシ	2500～ 5000倍						
	チャノキイロアサギシマ ミカンモグリカ カメムシ類 アブラムシ類 ゴマダカミツ成虫	2000～ 5000倍						
	ミカンバエ	2000～ 4000倍						
	ミカンキジラミ	2000倍						
	ゴマダカミツ成虫	40倍						5L/10 a
アブラムシ類	20倍							

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (続き)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	チャノイワザミウマ	5000倍	200~700 L/10a	収穫21日 前まで	2回以内	散布	2回以内
あんず	アブラムシ類			収穫7日 前まで			
キウイ フルーツ	かみん類	2000倍		収穫前日 まで			

⑥20.0%イミダクロプリドフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
わさび	アブラムシ類	4000倍	100~200 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内

⑦2.0%イミダクロプリド・4.0%フルベンジアミドフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ カブラヤガ ハスモンヨトウ ハマダラカ	100倍	セル成型育苗 トレイ1箱 または ペーパーポット 1冊 (30×60cm、 使用土壌約 1.5~4L) 当り 0.5~1 L	定植3日前 ~定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の灌注 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)	4回以内 (灌注は 1回以内、 散布は 3回以内)
レタス	アブラムシ類 カブラヤガ ハスモンヨトウ オタハコガ						3回以内 (育苗期の処理 は 1回以内、 散布は2回以内)	3回以内 (灌注は 1回以内、 散布は2回以内)

⑧70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダクロプリドを含む農薬の総使用回数
てんさい	テオイトビハムシ	90~130g/ユニット*	は種前	1回	種子被覆剤 に混和後、 種子にコー ティングす る	1回
	テオイモグリハガエ	130g/ユニット*				

*: 1ユニット (約 100,000 粒) /ha

⑨70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
とうもろこし	アブラムシ類	9~14g/10a	は種前	1回	種子処理機による種子粉衣	3回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は2回以内)

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤

作物名	適用 病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
稲 (育苗箱)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り0.5L	移植2日前 ~ 移植当日	1回	育苗箱当り 希釈液0.5L を苗の上から 灌注する	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での 散布は2回以内)
	イネミスズウンシ イネトヨイシ	500~ 1000倍					
かんきつ	アブラムシ類 チャキイロアザミガ シロハモグリガ ゲキスイ類 ゴマダカミ成虫 コアホナムクリ コカイラムシ類 アカムカゲラムシ コジラムシ類	10000倍	200~700 L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内
	シロキジラムシ アザミガ類	5000倍					
	カメムシ類	5000~ 10000倍					
げっしつ	シロキジラムシ	5000倍		発生初期	4回以内		4回以内
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍	200~700 L/10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類 キンモンホカ キンモンハモグリガ	10000~ 15000倍 10000倍					
うめ すもも	アブラムシ類			収穫21日 前まで			
なし	コカイラムシ類	5000倍	200~700 L/10a	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類 カメムシ類	5000~ 10000倍					
もも	アブラムシ類			収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
	モモハモグリガ カメムシ類	10000倍					
ネクタリン	アブラムシ類	5000~ 10000倍		収穫14日 前まで	2回以内	散布	2回以内
	モモハモグリガ カメムシ類	10000倍					